

# パラメトリック PET を用いた悪性腫瘍の評価

2019年10月1日より2024年3月31日の間にPET検査を受けた患者さん

## 研究協力をお願い

当科では「パラメトリック PET を用いた悪性腫瘍の評価」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2019年10月1日から2024年3月31日に日本医科大学健診医療センターにて、悪性腫瘍の検査のためにFDG-PET検査を受けられた患者さんの画像を利用して、パラメトリックPETという体内の薬剤(FDG)の挙動を画像化できる解析方法の有用性を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

### (1) 研究の概要について

研究課題名：パラメトリック PET を用いた悪性腫瘍の評価

研究期間：研究実施許可日～2024年3月31日

研究責任者：日本医科大学付属病院 放射線科 桐山智成

### (2) 研究の意義、目的について

PET検査は悪性腫瘍の診断、ステージング(進行の程度)、治療効果判定などに用いられています。悪性腫瘍のPET検査では体内でブドウ糖に似た挙動を示すFDGという薬剤を投与し検査を行いますが、本研究では体内でFDGのまま存在する薬剤とFDGが取り込まれ細胞内で代謝(リン酸化)されたFDG-6-リン酸とをパラメトリックPETという手法で分離し、悪性腫瘍とそのほかの細胞における細胞内でのFDGの動態の違いを明らかにします。また、この手法が従来のPET検査と比較して悪性病変の検出や診断に役立つかを調査することが本研究の目的です。

### (3) 研究の方法について(研究に用いる試料・情報の種類)

2019年10月1日から2024年3月31日に健診医療センターでPET検査を受けられた患者さんの画像データおよびカルテから得られる情報を用いて研究を行います。このうちSiemens社製PETカメラで全身の撮像を行った患者さんのみの画像を用い、そのデータからパラメトリックPETという手法で体内のFDGの動態(代謝の状態)について情報を得て、得られた画像データをもとに画質、病変の検出の精度や病理学的所見(手術で採取された細胞)との比較、検討を行います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：PET検査の画像データおよび年齢、性別、身長、体重、検査結果(腫瘍マーカーなど採血の結果)、病理のレポートなどのカルテから得られる情報

### (4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(文部科学省・厚生労働省)」および「同・倫理指針ガイドダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

### (5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

### (6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 放射線科 講師 桐山智成

〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5

電話番号：03-3822-2131(代表) 内線：24669(PHS)

メールアドレス：s7026@nms.ac.jp